

平成30年度 県立宮古高等学校学校評価(学校評価まとめ)

【学校の教育目標】

憲法並びに教育基本法の定めに従い、民主社会の形成者にふさわしい知・徳・体の調和のとれた人材を育成する。

【本年度の努力目標】

- (1) 魅力ある学校・信頼される学校づくりに努める。
- (2) 学力向上に努める。
- (3) 体力の向上に努める。
- (4) 積極的な生徒指導を実践する。
- (5) 進路指導を充実する。
- (6) キャリア教育を充実する。
- (7) 教育相談を積極的に推進する。
- (8) 図書、IT関連機器、視聴覚教材の充実とその利用に努める。
- (9) 職員研修を積極的に推進する。
- (10) 保健・安全教育を推進する。
- (11) 美しい学園づくりに努める。
- (12) 施設・設備の充実とその効果的運用に努める。
- (13) 国際化時代に対応する教育を推進する。
- (14) 地域の文化理解と連携を深める。
- (15) PTAや同窓会及び関係機関との連携を深める。

【平成30年度の成果と課題】

成果
 ①国公立・私立合格(琉球大、兵庫立大、福岡教育大、北九州市立大、法政大、中央大、近畿大、福岡大等) ②県総体卓球競技団体優勝 ③NHK杯放送コンテスト沖縄大会最優秀賞
 ④全国総体ウエイトリフティング出場 ⑤県高文連軽音楽コンテスト優勝 ⑥県吹奏楽アンサンブルコンテスト金賞 ⑦台湾姉妹校交流20周年記念式典の開催 ⑧創立90周年記念式典の開催
 課題
 ①学力の向上(国公立合格増) ②新教育課程・探究学習への取り組み ③高い次元での文武両道

【評価】自己評価の欄(ABCD)に○を記入し、評価を踏まえて課題を書いてください。

A:達成できた(80%以上) B:ほぼ達成した(80%~50%程度) C:あまり達成できなかった(50%~30%程度) D:達成できない(30%以下)

| 評価項目 | 具体的目標 | 具体的方策 | 自己評価 | 平成30年度課題等 | 学校関係者評価 | 学校関係者からの要望等 |
|---------------|--|---|------|---|---------|--|
| (1)教育目標 | ○自己教育力の育成 | ① 自ら学ぶ態度と自己実現の能力を育てる。 | B | ○教育目標実現に向け概ね取り組んでいる。 | A | ○郷土愛が育まれる教育の充実を図る。 ○各地域の伝承者の講演の開催。 |
| | ○知・徳・体のバランスのとれた教育 | ② 毎日の授業を大切に、家庭学習、部活動を奨励する。 | B | | | |
| | ○緑豊かな教育環境の整備 | ③ 緑豊かな環境を整備し、心豊かな生徒を育成する。 | B | | | |
| | ○アイデンティティと国際性 | ④ 郷土の歴史・文化を誇りにし、国際協調の精神を育てる。 | B | | | |
| (2)教育計画 | ○教育目標に沿った計画・立案を行う。 | ① 教育課程の整備、年間行事計画の策定・実施。 | B | ○新学習指導要領に沿った教育課程の検討・整備を推進する。 | A | ○大学入学共通テストを見据えた進路指導の取り組み。 |
| (3)教科・科目指導 | ○学ぶ楽しさを実感させ、学力の向上を図る。 | ① 説明、板書、発問等、各教諭の授業の充実 | B | ○家庭学習の習慣化を図り、予習復習の奨励を推進する。 ○応用を見据えた授業の推進。 ○各種検定の推奨。 | B | ○「Review Time」の継続及び拡充を期待する。 |
| | | ② 基礎・基本の確実な定着 | B | | | |
| | | ③ 諸講座を実施し、学習の応用・発展を図る。 | B | | | |
| | | ④ 個に応じた指導 | B | | | |
| | | ⑤ 家庭学習の習慣化 | B | | | |
| | | ⑥ 各種検定の奨励 | A | | | |
| (4)総合的な学習の時間 | ○問題解決能力・国際理解の態度を育て、郷土に対する理解を深める。 | ① 全職員による取り組み | A | ○係りの尽力によって、総学が筋の通ったものになった。 ○総合的な探究活動について推進する。 | A | ○姉妹校との交流学習を通じ、国際的知識に対する探究欲の指導。 ○台湾交流20周年式典もすばらしく行われ、今後とも期待します。 |
| | | ② 姉妹校との交流 | A | | | |
| | | ③ 郷土学習の推進 | B | | | |
| | | ④ 地域との連携 | B | | | |
| (5)特別活動 | ○自主性・自立性を確立し、豊かな心を育成する。 | ① 学級経営の充実 | B | ○全国・九州大会へ出場する部活が増えた。 | A | ○講演会や式典等での、規律ある行動や役割がとられている。 ○各活動に関わりの少ない個々の底上げを、どのように行おうかが課題。 |
| | | ② 生徒会活動の活性化 | B | | | |
| | | ③ 部活動の活性化 | A | | | |
| (6)生徒指導 | ○基本的な生活習慣の確立 ○交通安全教育の推進 ○問題行動の未然防止 ○人権教育の推進 | ① 勤怠指導・マナー指導・身なり指導を徹底し、挨拶を奨励する。 | B | ○マナー向上・身なり・勤怠等の取り囲りより意識の高揚が図られている。 ○SNS等の指導への取り組みの強化。 | A | ○SNSの有効な活用方法等について、講演等を開催して欲しい。 ○ICT(特にSNS)教育の拡充。 ○SNSでのトラブルについての講話の継続。 |
| | | ② 生命の大切さ・道路交通法の遵守の指導を徹底する。 | A | | | |
| | | ③ 学年ごとに生徒指導集を毎月もって指導する。 | B | | | |
| | | ④ いじめ防止の指導を徹底し、カウンセリングメントを持って生徒指導にあたる。 | B | | | |
| (7)進路指導 | ○進路の早期決定 ○進路決定率を高める ○国公立大学への合格者数を増加させる ○進路意識の高揚 | ① 進路調査を活用し、三者面談、個別面談を実施する。 | B | ○国公立大進学者の増に向けた取り組み強化を図っていく。 | A | ○各家庭の経済力に応じた進路指導及び家庭での話し合いの強化の推進。 |
| | | ② 講座、進路相談を充実させ、対外模試を実施する。 | B | | | |
| | | ③ 進路検討会を持ち、個に応じた指導を充実させる。 | B | | | |
| | | ④ 進路講演会や各種講座・進路の保護者説明会を実施する。 | B | | | |
| (8)教育相談 | ○教育相談を積極的に推進する | ① 個に応じた支援体制の充実を図る。 | B | ○スクールカウンセラーとの連携は十分に図られているが、もう少し周知する必要がある。 | B | ○スクールカウンセラーの存在及び利用方法の周知。 |
| | | ② スクールカウンセラー等外部機関との連携を図る。 | B | | | |
| (9)健康・安全指導 | ○健康・安全で幸福な生活のあり方考える | ① 保健講話(健康教育)を実施する。 | B | ○さらに健康教育、施設の安全管理面の強化を図る。 | B | ○保健相談の充実の検討。 |
| | | ② 保健目標に沿って、保健便りを随時、発行する。 | A | | | |
| | | ③ 生徒の安全確保及び施設の安全管理に努める。 | B | | | |
| (10)環境美化 | ○緑あふれる、美しい学園づくりに努める | ① 教室を中心に学校内の美化に努める。 | B | ○係・用務の方々の尽力により、緑豊かな環境が維持されている。 | B | ○90周年事業後の美化環境管理の取り組み。 |
| | | ② 全体清掃を徹底する。 | B | | | |
| | | ③ 学校周辺の清掃活動 | B | | | |
| (11)研究・研修 | ○職員一人一人の教育的実践力及び学校の総合的な教育力を高める | ① 外部講師を招聘した職員研修を推進する。 | B | ○研修の時期、内容等、適切な実施を図り、職員研修の充実を図る。 | A | ○外部研修の推進と研修後の校内職員への波及。 |
| | | ② 校内研修の充実を図る。 | B | | | |
| | | ③ 授業研究の継続実施など授業改善に努める。 | B | | | |
| (12)家庭・地域との連携 | ○開かれた学校づくり | ① PTA活動の活性化を図る。 | B | ○さらにPTA相互の連携を図る。 ○ホームページの活用を推進し、学校広報に努める。 | B | ○次年度は学校と保護者との更なる連携を希望します。 ○創立90周年事業・式典の役割分担はすばらしかった。 |
| | | ② 授業参観・三者面談の活性化を図る。 | B | | | |
| | | ③ 学校のHP等をおして生徒の活躍や学校の情報を公開し、地域に学校の理解を求めることにより連携を図る。 | B | | | |